

みのたくかにと

「絵本とわらべうたの会」2026年度③

日時 6月9日(火) 10:00~11:00
場所 西公民館 1階 集会室
定員 15組

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたと絵本の読み聞かせで楽しいひとときを過ごします。



市民読書サポーターが図書館で 本を探すお手伝いをします

毎週土曜日の午前10時~12時まで
中央図書館1階の児童書コーナーに
市民読書サポーターがいます。
ぜひ気軽にお声がけください。



おすすめの絵本の紹介(低学年向き) *ぜひ大人が読んであげてくださいね*



かいじゅうたちの いるところ

モーリス・センダック さく
じんぐうてるお やく
富山房

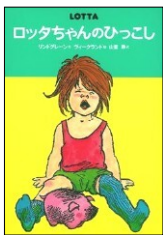
男の子のマックスは、ある晩オオカミの衣装を着て大暴れ。お母さんに夕ごはんぬきで寝室に追いやられる。すると寝室に木がはえて森になり、波が打ち寄せて船を運んで来る。マックスが1年と1日航海して着いた所は“かいじゅうたちのいるところ”。マックスは怪獣の王さまになってまたまた大暴れ。けれどもそのうち、誰かさんが恋しくなって……。



かもさんおとおい

ロバート・マックロスキー ぶんとなえ
渡辺茂男 やく
福音館書店

巣を作る場所を探してボストンまで飛んで来たかものマロードさん夫婦は、ようやく安全な川の中洲に落ち着いた。卵も無事にかえて子育てに励む奥さん。だんなさんは一足先に食べ物の豊富な公園へ。1週間後には奥さんも8羽の子がもを引き連れてお引越し。おまわりさんに助けられ、大通りや交差点を堂々で行進するかもさん一家がほほえましい。セピア色で描かれたボストンの街並みが美しい。



ロッタちゃんのひっこし

リンドグレーン 作
山室静 訳
偕成社

5歳になったロッタちゃんは、一番大切にしているプタのぬいぐるみを兄弟がいじめる夢を見たので、今朝はすごく機嫌が悪い。お母さんはロッタが着たい服を着せてくれず、ちくちくするセーターを着せようとするので、とうとうかんしゃくを起こして、そのセーターを切り刻んでしまう。そしてロッタは、お隣の物置の2階に引っ越すことにする。お隣のおばさんはロッタをやさしく受け入れ、家具やおもちゃまでそろえてくれた。ロッタは大満足し、一生ここで住むと宣言する……。



金のがちょうのほん

—四つのむかしばなし—
レズリー・ブルック 文・画
瀬田貞二・松瀬七織 訳
福音館書店

「金のがちょう」「三びきのくま」「三びきのこぶた」「親ゆびトム」の4つのイギリスの昔話が載っている。どの話も、日本でよく知られたイギリスの代表的な昔話で、語りつがれてきた話に忠実に描かれている。

絵本画家のレズリー・ブルック(1862~1940)によるカラーと白黒の挿絵がたくさんついていて、絵もたっぷり楽しめる。ブルックの描く動物はリアルで甘ったるい感はなく、ぶたもクマもどこかユーモラスで人間くさい表情をしており、みる人をひきつける。